



ピーマン類の雨よけ栽培における 天敵を利用した害虫管理技術導入による 作業負担軽減効果



天敵放飼



薬剤散布



図 ピーマン類の雨よけ栽培における作業別負担度

注) 生産者30名(防除作業従事者)へのアンケート調査(2010年9月～12月)。各作業毎に肉体的・精神的負担感を弱い(1点)～強い(3点)の3段階で評価した。

ピーマン類の雨よけ栽培における害虫防除作業の負担度を評価するため、平成22年度に嶺北地区の生産者30名を対象にアンケート調査を実施しました。

まず全作業を15に分類し、それぞれの負担度を「肉体的」「精神的」別に、弱い(1点)～強い(3点)の3段階で評価して頂きました。その結果、「肉体的」「精神的」ともに、最も負担度が強い作業は「薬剤散布」であり、最も弱い作業は「天敵放飼」であることがわかりました(図)。

次に、作業別の負担度を金額(自分がもらいたいと思う時間当たりの労賃)に置き換えて評価して頂きました。その結果、評

表 ピーマン類の雨よけ栽培における作業別評価金額

順位	作業分類	評価金額
1	耕耘・畝立て	1,267
2	薬剤散布	(*) 1,233
3	後片付け(残渣・マルチ・自動かん水等除去)	1,091
4	圃場準備(灌水チューブ・マルチ被覆・支柱立て等)	1,007
5	定植	998
6	整枝・摘葉	(*) 993
7	追肥(置き肥)	(*) 985
8	土着天敵採取	(*) 977
9	誘引(誘引ひもの取り付け・誘引)	(*) 974
10	天敵放飼	(*) 954
11	選別・袋詰め	(*) 939
12	灌水・追肥(液肥)	(*) 933
13	温度管理(サド [®] の開け閉め・谷換気)	(*) 926
14	果実ふき取り	(*) 909
全作業(加重平均)		1,016
収穫(アンケート結果)		909

注) 1 (*)は日常管理作業。
2 赤字は病害虫防除関連作業。
3 生産者30名(防除作業従事者)へのアンケート調査(2010年9月～12月)。回答者が他の生産者または農業生産法人等に雇われて作業した場合、時給として受け取るにふさわしい金額を作業別負担度を考慮して記入した。なお、評価の基準額として、収穫作業の時給を800円と設定し事前に提示した。
収穫作業の評価基準額800円とアンケート結果の909円の差額により作業別評価金額を算定した。

価金額が最も高かったのは、全作業中では「耕耘・うね立て」の1,267円でしたが、作業期間が長期にわたる日常管理作業中では「薬剤散布」の1,233円であり、負担度の強さが金額に反映されていると推察されました(表)。

天敵を利用した害虫管理技術の導入は、生産者の害虫防除作業に対する負担感を、心身ともに軽減する効果があることが明らかになりました。

なお、本研究は農水省の新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業「施設園芸害虫防除のための在来捕食性天敵バンカーの開発」の中で実施しました。

(営農システム担当 福井淑子

088-863-4918)